

なぴあ



公益財団法人長崎県国際交流協会 広報誌
2025年12月発行 VOL.129

事業報告



令和7年度日本文化体験教室～折り紙でブローチを作ろう～を開催しました！

2025年11月1日（土）、長崎県国際交流協会にて、長崎県に住む外国人・日本人を対象に、日本文化体験教室を開催しました。中国やロシア、タイ、韓国出身の方など計12名が参加しました。今回は、井手眞佐恵先生を講師にお迎えし、ブローチの作り方を教えていただきました。井手先生が、大きな折り紙を使って折り方を説明し、参加者は集中してブローチの作成に挑戦しました。細かい作業も参加者同士協力しながら、素敵なブローチを完成させることが出来ました！ 参加者のみなさんからは、「折り紙でブローチが作れてびっくりした」や、「とても楽しかった」などの感想をいただきました。参加してくださった皆さま、ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました！

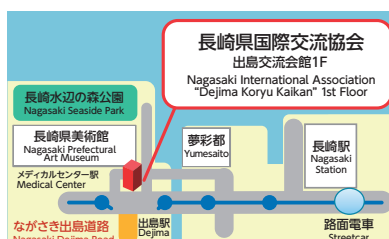


公益財団法人

長崎県国際交流協会

Nagasaki International Association

〒850-8062 長崎市出島町2番11号
TEL 095-823-3931/E-mail nia@nia.or.jp
[開館時間] 月～金曜日 9:00～17:30 ※祝日休館



公式 HP



Facebook



協力隊まつり IN ながさが開催されました！

9月28日（日）、長崎市興善町の不動技研ながさき市立図書館にて、JICA デスク長崎主催の「協力隊まつり IN ながさき」が開催されました。このイベントは、国際協力や海外に興味を持っている方が多くの情報に触れることや、より一層海外に興味を持っていただくこと、さらには JICA 海外協力隊の元隊員たちが交流を深めることを目的として開催されました。

会場では、タイの雑貨販売を行うブースや、アフリカ布でヘアゴムを作るブース、オリジナル缶バッジを作成するブースなども設置され、多くの方が訪れ、楽しんでいました。



イベントでは始めに「アラビア語 de ラジオ体操をしてみよう！」が行われ、アラビア語で数を数えながらラジオ体操を行いました。皆さん楽しく体を動かしていました。

ラジオ体操を行う様子



また、江口太陽さんからは、ボツワナ共和国の産業や通貨、歴史をはじめ、江口さんの配属先での体験や活動の思い出などについて詳しいお話がありました。江口さんは7月までボツワナ共和国の小学校で先生として、体育、算数、ICTなどの小学校教育に携わってこられました。児童の体力・学力の向上に向けた取組みや校内のICT環境の整備のお話など、魅力的で貴重な体験談に、皆さん、興味津々で耳を傾けていました。



他にも、会場とモルディブ共和国を生中継でつなぐコーナーや、実際に協力隊として派遣された方がその国の自慢や文化について語る「I ♥ 派遣国 協力隊 OB/OG 派遣国トーーーーーク!!!!」、ルワンダ国歌をキニャルワンダ語で歌う「キニャルワンダ語で一緒に歌おう♪」などが行われました。クイズ大会では、会場は大盛り上がり。「JICA 海外協力隊が最初に派遣された国はどこ?」「2025年7月時点で現在派遣されている隊員が一番多い国はどこ?」など、JICA 海外協力隊に関する問題が多く出され、来場者の方は楽しみながら JICA の歴史に触れることができました。

最後には、来場者の皆さんが描いた色とりどりのポストカードをつなげ、1枚の大きな世界地図を完成させました。鮮やかな色で彩られた世界地図に会場は拍手に包まれました。

9月2日（火）、島原商工会議所大ホールにて、島原青年会議所の例会の中で「多文化共生講座」を開催させていただきました。島原青年会議所は今年、創立70周年を迎えられ、節目の年に「これからの島原半島のカタチ ～共に描こう島原半島の未来～」をテーマに、地域の将来を見据えた取り組みを進めておられます。

今回は、矢野花織さん（一般財団法人自治体国際化協会 地域国際化推進アドバイザー）を講師にお迎えし、「知っておきたい外国人受入・共生の基礎知識」と「明日から始めたい受入れの土壌づくり」という2つの視点から講話をいただき、これからの地域づくりについて、「自分ごと」として考えていただく機会となりました。

講座実施後、島原青年会議所の皆さんからは、「外国人との共生のヒントを得られた」「今後の地域課題を現実的に考える機会になった」といった様々な感想をいただきました。

講師からの「島原青年会議所の未来に向けた地域づくりが一層進展することを期待しています」との励ましの言葉で講座が終了しました。

講座は、最初に、民間の有識者会議「人口戦略会議」が2024年4月に発表した自治体の持続可能性に関する分析に基づいて、2050年の島原地域（島原市・雲仙市・南島原市）における人口減少についての解説と、それに伴う暮らしへの影響などについて話がありました。

人口減少が進むことで、公的サービスの縮小や、医療・福祉分野での担い手不足、公共交通の減便、買い物環境の悪化など、私たちの生活にも直接的な影響が生じることが懸念されています。

また、現在の「技能実習制度」は令和9年度に「育成就労制度」へと移行し、外国人労働者の転職（転籍）の制限が緩和される見込みです。これにより、より良い労働条件を求めて都市部へ移る外国人が増え、地域の担い手が不足する可能性があります。

矢野さんは、島原地域が「選ばれる地域」になるためには、「受け入れの土壌づくり」を速やかに実行していくことが重要だと話されました。さらに、外国人住民が

地域で生活する上で直面する課題として、「こころの壁」「文化・習慣の壁」「ことばの壁」があり、こうした壁を少しでも低くするためには、日本人一人ひとりが「手伝う」「気を付ける」「知る・学ぶ」姿勢を持つことが大切と述べられました。具体的には、やさしい日本語（簡単な日本語のこと）で話すことや、地域行事に誘うこと、文化や宗教の違いを理解する機会を設けることなど、日常の小さな心配りが相互理解と信頼関係の構築につながると語られました。



矢野 花織 さん



島原青年会議所のみなさん

令和7年度 第2回コミュニティ交流会

5月27日（火）、県内の事業所で通訳として勤務するミャンマー連邦共和国出身のチョ・ヤダナ・モーさんをお迎えし、ミャンマーの文化や日本での暮らし・課題などについて意見交換を行いました。

チョさんの言葉の端々から、ミャンマー人と日本人の架け橋となり、より良い共生社会を築こうという思いが伝わってきました。

（チョさんの話）

ミャンマーの人たちは、穏やかで控えめな性格の人が多く、日本人とよく似ていると感じています。

食文化についてですが、私たちの主食はお米で、塩辛いものや油を使った料理が好まれます。そのため、日本の料理は少し味が薄く感じられることがあります。例えば、唐揚げは甘く感じますし、うどんは味がしないと言う人もいます。一方で、ラーメンやカレーのような味の濃い料理はとても人気があって、私たちの口にも良く合います。

現在のミャンマーは情勢が不安定で、仕事を求めて海外に出る人が増えています。中でも日本はとても人気があり、競争率が高いので、希望する職場や勤務地で働くためには高い日本語力が必要になります。

一方、課題と感じているのは、長崎に来た技能実習生などの多くが、実習を終えた後、もっと良い待遇を求めて都会へ行ってしまうことです。また、家族として日本に在留している親や配偶者、子どもの中には、生活の中で日本語に困っている人もいます。たとえば、スマートフォンのアプリやAIなどの技術を使って、役所や病院、警察などの公的な場所だけでなく、様々な場面でミャンマー語での対応をしていただけると、本当に助かります。しかしながら、やはり日本で生活するには日本語が話せることが必要だと私は感じています。



チョさん（左から2番目）



コモ エスタス

Cómo estás!

(元気ですか!)



箕浦 祥(みのうら やすし)さん

隊 次：2023年（令和5年）1次隊

派遣国：パナマ共和国

職 種：海運・航海

パナマの一般情報(外務省のHPより引用)

面 積：75,517平方キロメートル

人 口：約451万人（2024年世銀）

首 都：パナマシティー

言 語：スペイン語

宗 教：カトリック



パナマでの活動

こんにちは。私はシニア海外協力隊（海運・航海）としてパナマ国際海事大学へ派遣されました。元々世界に航路を持つ外航船を運航する日本の海運会社出身で、船長職を持つ海技者です。

パナマといえば、パナマ運河が有名で昨年トランプ大統領の発言により一気に有名になりました。実は私が着任した2023年、パナマ運河は大きな干ばつに見舞われ、運河の通航量が一日36隻から20隻に減少。運河危機の年でもありました。

パナマという国は、このパナマ運河がある故に、中南米や、米国、ヨーロッパ、中国などの大国により翻弄されてきた歴史を持つ国でもあります。現在のパナマは、パナマ運河関連産業、金融業などが中心となり、中南米屈指の経済成長を遂げた国に発展しました。

私はパナマの主産業である海事関連分野へ従事する大学生の指導に関わりながら人材を育成し、また、パナマ国際海事大学と日本の海運企業などとの関係を深める活動を行いました。さらには、教授や学生と関係を深め、日本とパナマの国際親善を深める活動もしました。

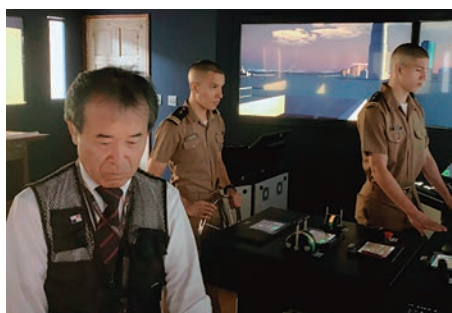
活動を通して学んだこと

パナマは途上国で教育関係の問題を抱えており、パナマへ派遣される多くの海外協力隊員が教員です。しかし、私が着任したパナマ国際海事大学は、パナマで5校しかない国立大学の一つで、教員や学生達のレベルは非常に高く、海技者としてパナマ国際海事大学を卒業した生徒達は、日本を含む世界有数の大手海運会社に就職しています。「途上国のパナマにこんなにも素晴らしい大学があるんだ」と非常に驚かされました。教員や生徒達の熱意、誠実さ、温かさなど全てに感動しました。

振り返れば JICA 海外協力隊での活動は、長い夏休みの冒険自由研究のようで、夢の中の出来事のように感じています。

今まで仕事を通して世界中を回りましたが、まだまだ知らない世界が数多くあること、自分自身を振り返り、環境、戦争、平和、人生や命などについて考える貴重な時間を得られたことなど、海外協力隊員としての活動から得られた物ははかり知れません。

皆さんも是非経験してみたいはいかがでしょうか。



最先端の操船シミュレーター訓練を使っでの指導



操船シミュレータークラスの教授と教え子達（活動終了時の送別会での記念写真）



パナマ国際海事大学の報告会に日本の海運企業関係者などを招き、相互のつながりを深めた

日本語ボランティア講座を開催しました！

長崎県及び長崎県国際交流協会では、多様なライフスタイルを持つ外国人住民の皆さんが、日本語を学びながら地域住民の方とつながりを持つことができるよう、地域日本語教室の設置に取り組んでいます。この教室は、日本語を通じて地域の外国人と日本人が交流することを目的としています。

昨年度に引き続き、今年度も2025年9月20日（土）から12月13日（土）にかけて、日本語ボランティア養成講座を開催しています。この講座では、日本語を使いながら、その場に参加する人同士が交流し学び合う関係

づくりができるよう、交流するときに大切にしたいことや外国人住民の現状、「やさしい日本語」などについて様々な角度から学んでいます。

全5回の講座のうち、4回はオンラインでの実施です。各2時間の講座では、「多文化共生」や「やさしい日本語等のコミュニケーションの基礎」、「地域日本語教室の役割」などについて知識を深めてきました。

また、第4回講座では、実際に地域日本語教室にも参加し、外国人住民と日本人住民の交流を体験しました。



地域日本語教室の役割

現在、長崎県には14の市町に地域日本語教室があります。これらの地域日本語教室は日本語学習の場だけではなく、地域の多文化共生を推進する以下のような5つの役割があります。

情報提供・相談

相互理解

地域参加

日本語学習

居場所

地域日本語教室が求められる背景

① 在留外国人の増加

長崎県の在留外国人は令和6年12月末現在で15,692人、外国人労働者は令和6年10月末現在で11,096人と過去最高となっています。また、外国人労働者の対前年度増加率は全国1位で、技能実習、特定技能などの在留資格の方々にも本県の産業をしっかりと担ってもらっています。人口減少や人手不足の進展が予測されており、地域産業の担い手として外国人材のさらなる受入拡大が見込まれています。

② 外国人住民の受入れ環境

外国人住民の中には日本語でのコミュニケーション力が十分でないため、日常生活における様々な場面で不便や疎外感を感じ、日常生活に困難を抱える方も多くいます。このような外国人には日本人と接する機会が少ない方が多く、また日本人住民の側でも外国人の文化や考え方などに触れる機会が多くないなどと言われています。それらが原因となって、日本人住民の外国人住民に対する様々な先入観に繋がっているとの声もあります。

③ 国の動向

令和元年に施行された日本語教育推進法では、地方公共団体の責務として、地域の状況に応じた日本語教育に関する施策の推進が明記されました。

お知らせ

第27回ながさき国際協力・交流フェスティバル

県内在住の外国人住民と日本人住民
が一緒になって楽しめる催しが盛り
だくさん！

皆さん、ぜひ遊びに来てください！

●日時：2025年12月14日（日）

午前11時～午後4時

●会場：長崎県庁1階（長崎市尾上町3-1）

●内容：県内の国際協力・交流団体の活動展示、
フェアトレード製品の販売他

●主催：（公財）長崎県国際交流協会

T E L：095-823-3931

Eメール：nia@nia.or.jp



QRコード

ながさき異文化ちゃんぽんフェスタ

外国の文化を気軽に楽しく体験したり、国際交流
を行うイベントを実施します。様々な楽器の演奏
や海外の民族音楽を披露するステージイベントの
ほかに、長崎市内で活動する国際交流団体の活動
紹介など、いろいろな国の文化を体験できるブー
スがあります。変面ショーもあります。ぜひ遊び
に来てください！ ※当日「ちゃんぽん」は出ません。

●日時：2026年1月24日（土）

●場所：ベネックス長崎ブリックホール3階
（長崎市茂里町2-38）

●主催・問合先：長崎市役所 国際課
（TEL：095-829-1113）

「長崎県外国人相談窓口」の営業日時のお知らせ

営業日時：月曜日～金曜日、午前9時～午後4時

休 み：土曜日、日曜日、祝日、12/29～1/3

T E L：095-820-3377

Eメール：soudan@nia.or.jp

場 所：長崎県国際交流協会内（長崎市出島町2-11）

外国人の在留資格、健康・福祉の生活相談など、長
崎に住む外国人や、外国人の日本人関係者が相談す
ることが出来ます。

電話通訳を利用し、22の言語で対応可能です。

CIR（国際交流員）と話そう！

水曜日の午後4時～5時まで、国際交流員と交流しま
せんか？

韓国、中国、オーストラリア出身の CIR が皆さまをお
待ちしています。外国語が話せなくても大丈夫です！
予約不要、無料。

詳細は、当協会の HP でご確認ください。

場所：長崎県国際交流協会（長崎市出島町2-11）

問い合わせ：（公財）長崎県国際交流協会

T E L：095-823-3931

Eメール：nia@nia.or.jp

多言語冊子の無料配布

外国人に関わる皆さまに、3種類の冊子を、日本語、英語、
中国語、韓国語、ベトナム語で無料配布しています。お気
軽にご連絡ください。

《無料配布している多言語冊子》

★ながさき生活ガイドブック

★知っておこう！災害が起こるその前に！

★病院に行く時に使う本

国際交流・多文化共生を応援する

助成金申請の募集

国際交流や多文化共生などに取り組む非営利団
体に加え多文化共生に取り組みた
い企業にも助成を行っています。
要件がありますので、QR コード
からご確認ください。



QRコード

賛助会員募集中

私たちは、「世界の人々と共生し交流する活力ある地域づくり」を趣旨
とし、日本人・外国人がお互いに理解・助け合いながら協働・共生する
地域づくりに貢献できるよう活動しています。

安定した運営を確保するためにも、私たちの活動の趣旨に賛同し、支援
してくださる個人・企業・管理団体・民間団体を募集しています。

年会費

個人会員：1口 3,000円

法人会員：1口 10,000円

※詳しくは、長崎県国際交流協会
にお問い合わせください。

ご支援いただいている賛助会員

安達株式会社

扇精光ホールディングス株式会社

ヤナセ産業株式会社

長崎県青果移出商業協同組合

東興産業株式会社

個人会員22名